**理　事　会　開　催　報　告**

Ⅰ　日　時　　平成３１年３月２６日（火）１５時３０分～１６時５７分

Ⅱ　場　所　　本会大会議室

Ⅲ　出席者数：３１名(理事会構成員定数３1名)

Ⅳ　出席者

会　長：水野晴夫

副会長：加藤幹夫、小出秀人、安友千治、神本千石、佐藤彊、長谷川幸子

常務理事：納谷次弘

理　事：荒木克成、南勲、飯田弘樹、江端俊昭、本間潤子、蛭川奈美、向川潔、伊達佳弘、山本毅、杉本剛昭、本間孝保、久保晃、竹中義久、中山享、小西實、大菊明、池田純夫、坂下美智夫、阪西貴子、越水一雄、笹森浩史、山村優子

オブザーバー：井上昂監事、松本康二支部長会代表幹事

〔事務局〕

 　（兼）納谷次弘事務局長、坂下明彦事務局次長

Ⅴ　欠席者

青木弘子監事、武田昭芳政治連盟幹事長

Ⅵ　次第

１　開　会

２　会長あいさつ

３　神奈川県健康医療局保健医療部健康危機管理課からのお知らせ

４　議長の就任

５　配付資料の説明

６　議事録署名人の指名

７　一般議事動議の有無の確認

８ 議決事項

（1）神奈川県行政書士会経理規則の一部改正(案)について

９ 協議事項

（1）改元に伴う関係規則等の改正（案）について

（2）●●元年度　定時総会に付議すべき事項について

（3）平成３０年度　事業報告（案）について

（4）平成３０年度　収支決算報告（案）について

-1　平成３０年度　一般会計決算見込みについて

-2　平成３０年度　事業特別会計決算見込みについて

-3　平成３０年度　福利厚生基金特別会計決算見込みについて

（5）●●元年度　運営基本方針（案）について

 -1 ●●元年度　事業計画(案)について

（6）●●元年度　収支予算（案）について

-1　一般会計収支予算書について

-2　事業特別会計収支予算書について

-3　福利厚生基金特別会計繰越金凍結解除について

 -4　福利厚生基金特別会計収支予算書について

１０ 報告事項

（1）日行連関地協会長会の報告について

（2）会員の状況について

（3）登録入会説明会（２/２０，３/２）について

（4）年間スケジュールについて

(5）各部・委員会・ＷＧ等活動報告について

（6）特定行政書士特別委員会最終報告について

（7）平成３1年度事務分担について

１１　閉会

Ⅶ　議事概要

１　開会の宣言

荒木総務部長より、開会が宣言された。

２　会長あいさつ

　　　 冒頭の時候の挨拶に加え、年度最後の理事会であり、来期の予算と事業計画の協議が中心議題となることを触れるとともに、年始の挨拶で知事にお会いした際に風疹予防が話題となり、当会として風疹予防協力法人に登録をした。その一環として、風疹の撲滅作戦について神奈川県健康医療局の方にご説明をしていただく機会を設けたことを紹介された。

３　神奈川県健康医療局保健医療部健康危機管理課からのお知らせ

　・健康危機管理課副課長吉田和浩さんが、資料に基づいて風疹患者の発生状況と神奈川県の風疹撲滅作戦について説明した。

４　出席者の確認と議長就任

会則第４６条第１項の規定に基づく定足数を満たしている旨の発表がされ、会則第４５条の規定に基づき、長谷川副会長が議長に就任した。

５　配付資料の説明

事務局より会議資料の説明がなされた。

６　議事録署名人の指名

議長は、会則第４６条第３項の規定及び第３９条に基づき、本間国際部長と相模原支部坂西理事の２名を議事録署名人として指名した。

　７　一般議事動議の確認

　　 議長は、会議規則第１４条の規定に基づき、一般議事動議の提出の有無の確認を行ったが、提出はなかった。

８　議決事項

（1）神奈川県行政書士会経理規則の一部改正(案)について

　・南経理部長が資料に基づき説明した。

〇 議長が、質問がないか議場に確認したところ、質問がなかったため質疑を打ち切り採決

に入った。採決は、議長が議場へ本議案可決に異議が無いか伺い、議場より「異議なし」

の声のみがあったため、本議案は原案通り可決された。

９ 協議事項

（1）改元に伴う関係規則等の改正（案）について

 ・飯田法規監察部長が資料に基づき説明した。

○ 議長が、質問がないか議場に確認したところ、質問がなかったため、質疑を打ち切り,

次回理事会で議決事項とすることについて議場に諮ったところ「異議なし」の声のみがあったため、次回理事会の議決事項とすることで了承された。

（2）●●元年度　定時総会に付議すべき事項について

・議長から、定時総会の各議案の説明終了後に改めて諮る旨説明があった。

（3）平成３０年度　事業報告（案）について

　 ・議案内容について、各部部長等が順次資料に基づき説明した。

 ○ ３月分を加えたものを総会議案とする。

（4）平成３０年度　収支決算報告（案）について

-1　平成３０年度　一般会計決算見込みについて

・南経理部長が資料に基づき説明した。

-2　平成３０年度　事業特別会計決算見込みについて

・南経理部長が資料に基づき説明した。

-3　平成３０年度　福利厚生基金特別会計決算見込みについて

・荒木総務部長が資料に基づき説明した。

（5）●●元年度　運営基本方針（案）について

　・議案内容について、水野会長が資料に基づき説明した。

　　　平成３０年度はいくつもの事業を推進することがでた。活動で顕著だったのが法教育と空き家対策、それと丁種封印の導入・拡充などがあり、これらをもっと進めていく。更に次年度は法改正も発生し、その対策を講じなければならない。

　　　会員による不祥事の発生が重なり、本会の会員の質的向上が内外から注視される中で、会を挙げて人権研修や倫理研修の強化推進が喫緊の課題であることを強調された。また、具体的な施策は大きくは変更がない旨を付け加えた。

-1 ●●元年度　事業計画(案)について

・議案内容について、各部部長等が順次資料に基づき説明した。

大菊理事より、昨今の不祥事のことを鑑みると倫理研修を１回、人権研修を１回ずつの

実施でいいのかとの疑問が呈され、各部研修も含めた倫理研修の拡充を求められた。

水野会長より、大菊理事の意見に同意し、研修部で実施する倫理研修、人権研修の強化

はもとより、新人研修、申請取次研修等、各部の研修機会をとらえて倫理研修を織り込ん

でいくなどの意欲を示され、不祥事防止の今後の取り組みにについて県へ報告する際に

も明確にしていくことを表明された。

（6）●●元年度　収支予算（案）について

-1　一般会計収支予算書について

・南経理部長が資料に基づき説明した。

　　災害対策積立金からの繰入金として災害対策費１０００万円を計上した。事業費に

ついては、各部からの提出内容とほとんど変わらない予算額となっている。

　　 -2　事業特別会計予算収支予算書について

　 ・南経理部長が資料に基づき説明した。

伊達運輸警察部長より、災害対策費は災害対策積立金から取り崩して予算化するのか、災

害対策とは具体的にはどういうものなのかとの質問が出された。

　 　　南経理部長は災害対策積立金から取り崩して災害対策費として計上しているとし、災害があった単位会への見舞金は会長交際費等から支出していたので、災害に対する経費として明確にしていくという考え方で１０００万円計上した。全て使い切るという経費ではなく災害時に対応できるように計上したものである。

-3　福利厚生基金特別会計繰越金凍結解除について

・神本福利厚生検討特別委員会委員長が資料に基づき説明した。

○ 議長が、質問がないか議場に確認したところ、質問がなかったため、質疑を打ち切り,

次回理事会で議決事項とすることについて議場に諮ったところ「異議なし」の声のみがあったため、次回理事会の議決事項とすることで了承された。

 -4　福利厚生基金特別会計収支予算書について

　 ・荒木総務部長が資料に基づき説明した。

 今年度まで一般会計からの繰入金で福利厚生を執行していたが、来年度からは福利厚生特別会計繰越金の凍結が解除されたとして繰越金の中で事業を実施する予算であることと、給付金については、会員の高齢化とともに親族の高齢化に対応して増額している。また、厚生事業の方は健康診断の予算を１００万円から２００万円に増額した案となっていることを強調された。

（7）●●元年度　定時総会に付議すべき事項について

　・荒木総務部長が協議事項及び提案理由を議案書に沿って説明した。

 ○ 議長が、質問がないか議場に確認したところ、質問がなかったため、質疑を打ち切り、

　　　 協議事項の(1)●●元年度定時総会に付議すべき事項について (2)平成３０年度事業

報告（案）から (3)の平成３０年度収支決算報告、（4）●●元年度運営方針、（5）●●元年度事業計画、（6）●●元年度収支予算案について、次回理事会で議決事項とすることについて議場に諮ったところ「異議なし」の声のみがあったため、次回理事会の議決事項とすることで了承された。また、今回協議した案件以外で総会に付議すべき事項の有無について諮ったところ、その他付議すべき事項はないということで次回理事会の議決事項とすることとされた。

１０ 報告事項

（1）日行連関地協会長会の報告について

 ・水野会長が資料に基づき説明した。

　　 次回の関地協会長会の幹事は当会、横浜地区のホテルはワールドカップ開催の関係で値段も高くなり確保できないので、箱根湯元の富士屋ホテルの方で１２月に開催予定としている。組織を挙げて取り組むことになると付け加えられた。

（2）会員の状況について

・荒木総務部長が資料に基づき説明した。

今日現在の会員数が２，９８３名であると報告し、退会された会員、死亡された会員の名簿の確認を求めた際に、坂下理事より、死亡された会員の支部名を明記されると支部でも対応しやすいと要望があり、荒木総務部が検討する旨回答した。

（3）登録入会説明会（２/２０，３/２）について

・荒木総務部長が資料に基づき説明した。

　　 　パネルディスカッションでは、運輸警察部、建設環境部、民亊法務部、国際部の各部からパネラーとして参加いただいたことへのお礼を述べ、来年度の説明会の回数を増やすことを次年度の課題としている旨の発言があった。

（4）年間スケジュールについて

 ・荒木総務部長が資料に基づき説明した。

　　小西理事より、５月１５日に予定されている役員選考委員会の委員については役員等選出規則の第３２条で「選考委員は会長、副会長経験者ならびに支部長とする。」となっているので、敢えて経験者と謳っていることから現職の正副会長は含まないのではないか、特に監事の場合は、執行部の執行状況等を監査する立場だから、選考委員に執行部の現職が入るのはおかしいのではないとの意見と質問があった。

　〇　議長が当該報告の質問として受けるか執行部内で検討した結果、質問として受けること

になり、飯田法規監察部長に第３２条の解釈について回答を求めた。

　　　飯田法規監察部長は現職の会長、副会長も経験者には違いないが、皆それぞれ考え方が異なることもあり、現職も含むという解釈がおかしいのではないかということであれば、この規定を改正するご意見やご指示があれば検討したいと思う旨回答。

(5）各部・委員会・ＷＧ等活動報告について

・各部長等が資料に基づき説明し、次のことが補足された。

【江端企画部長】本日、鎌倉市と空き家対策の協定を締結するため３月分の事業報告に加えた。

【山本建設環境部長】「建設業法と建設業許可」という書籍が本日発売となったことと申し込みをされた方には今週末に送付される等の紹介を始め、建設業に携わる方へのおすすめ本である旨強調された。

【佐藤表彰委員会委員長】平成３１年度の表彰予定者は、業務歴が８９名、役員歴が９名の９８名。来月の理事会で提案する旨発言があった。

小西理事から選挙管理委員会に関しての質問があったので

〇　議長が「選挙管理委員会のご質問でございますので、この場でお答えすることはできま

　せん。小西理事のご意見としてうかがっておきます。」と回答したが、再度質問されたので

〇　議長が「委員会は独立した組織なので理事会で委員会のことを議論はできません。」と重ねて回答した。

（6）特定行政書士特別委員会最終報告について

　 ・安友特定行政書士特別委員会委員長が検討した概要について冒頭に触れ、

　 　次いで小出副会長が最終報告書に基づき説明した。

　　　 その中で、現実の行政手続きと行政法との突合及び行政側への働きかけや、請願・陳情の分野について、特定行政書士としての業務につながるかどうかの検討を進めた結果、委員会としては最終報告をもって解散し、今後はワーキンググループとして業務に結び付くことに関し詳細な分析と検討を行うこととした旨発言された。

（7）平成３1年度事務分担について

　 ・納谷常務理事が資料に基づき説明した。

　　○ 議長が、本日の報告事項等が終了したので質問がないか議場に確認したところ、質問がなかった。

　　議長は、本理事会の全議事の終了を宣言し、１６時５７分に散会した。